

平成29年度「地盤工学会誌」優秀賞受賞者の決定

平成29年度「地盤工学会誌」優秀賞受賞者が、平成30年 3 月16日の理事会において下記のとおり決定いたしました。
なお、優秀賞は 6 月 6 日の第60回通常総会で授与いたします。

【「地盤工学会誌」年間最優秀賞】 (敬称略)

受賞業績名／業績発表文献	受 賞 者 名
「平成28年熊本地震による液状化・陥没による地盤被害」／平成29年 4 月号掲載（報告）	村上 哲（福岡大学工学部） 永瀬英生（九州工業大学工学部） 大里重人（㈱土質リサーチ） 矢ヶ部秀美（NPO 法人研究機構ジオセーフ）
●授賞理由：本記事は、液状化予測技術における最近の動向や課題をまとめ、現状の問題点、今後解決すべき課題について平易に記述されており、報告としてふさわしい記事であることから、多くの読者に支持されました。	

【「地盤工学会誌」優秀賞】

「武蔵野線軟弱地盤上の盛土の降雨対策と維持管理」／平成29年 6 月号掲載（報告）	狭田彰二（ジェイアール東日本コンサルタンツ㈱） 中村 宏（東日本旅客鉄道㈱） 館山 勝（(公財)鉄道総合技術研究所） 西原 聡（中央開発㈱）
●授賞理由：本記事は、地下水問題の最前線という特集の報告で、広域的な地下水問題や、対策技術、今後開発が必要とされる技術などについて平易に記述されており、総説としてふさわしい記事であることから、多くの読者に支持されました。	
「不飽和地盤における水の浸透モニタリング」／平成29年 1 月号掲載（報告）	木佐貫 寛（国立研究開発法人土木研究所） 稲崎富士（国立研究開発法人土木研究所） 今村杉夫（㈲地圏探査技術研究所）
●授賞理由：本記事は、筆者の長年の経験に基づき、打ち込み工法以外の杭の支持層確認方法の現状について紹介するとともに、今後の展望についてまとめたもので、実務的な有用性が高いと評価され、多くの読者に支持されました。	

(注：受賞者の所属は掲載当時)